

2017/9/13第1回 SPARC Japan セミナー

“学術リポジトリ”は 研究者と図書館員を 繋げるのか？

(研)農研機構 農業環境変動研究センター

大澤 剛士

<arosawa@affrc.go.jp>



大きな期待

図書館員との連携には可能性を感じています！



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



同時に不安

雑用の押し付けになってしまう可能性が気になっています



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



本当にお互い 利がある形は何だろう？



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



忖度不要

お互い有意義な建設的な議論をしましょう！



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

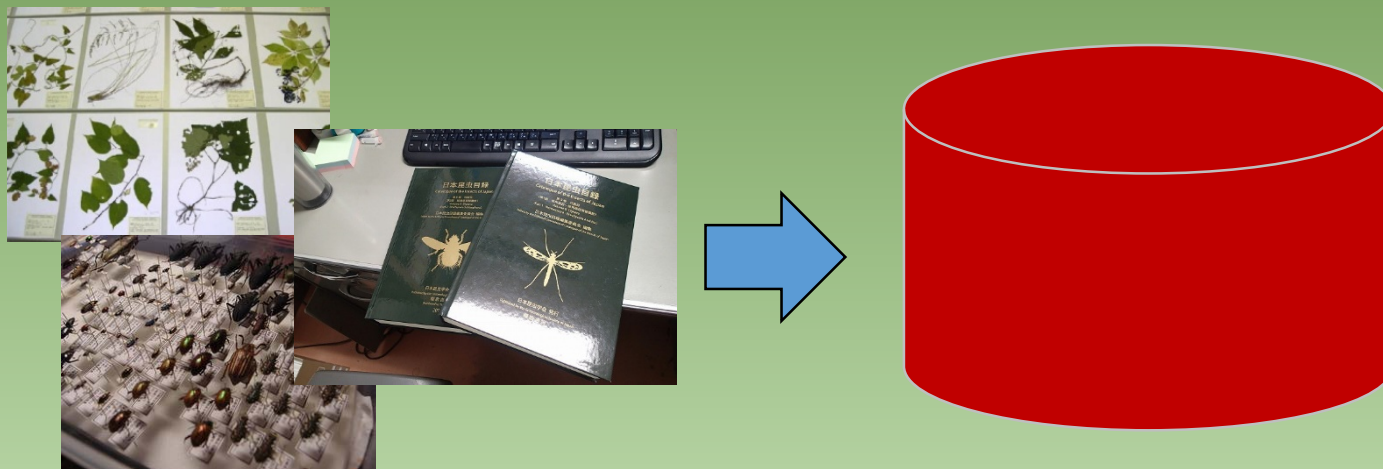
自己紹介



- ・大澤剛士 博士(理学)
- ・環境情報基盤研究領域 主任研究員
- ・専門は生態学／生物多様性情報学だが、面白いと思ったことは何でも関わる主義
- ・自分の研究を発展させてくれるアプローチとして研究データのオープン化を推進
- ・無意味な前例踏襲が大嫌い
- ・いつでも目指すはギリギリアウト

自己紹介

- 自然史資料を収集し、生物多様性に関するデータベースを整備、利用可能な形で公開する



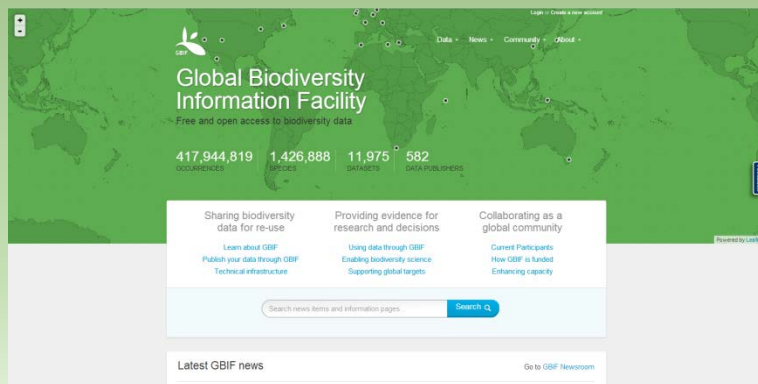
- それらを利用した生物多様性科学の研究

既存データの再整備、再利用が私の研究の基本です。

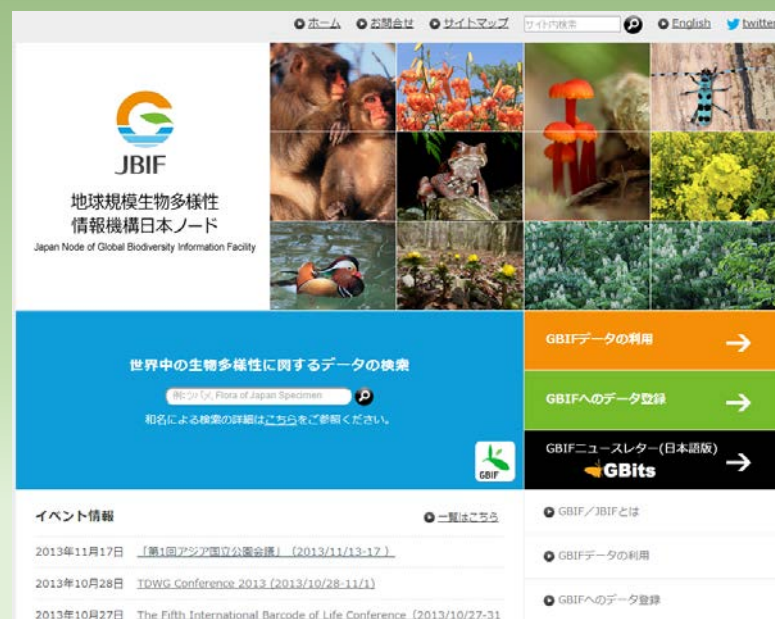
自己紹介

Global Biodiversity Information Facility (GBIF)

- 「地球規模生物多様性情報機構」日本ノード委員
- インターネットを介して世界中の生物多様性情報を共有しようという国際的取り組み



GBIF (<http://www.gbif.org/>)

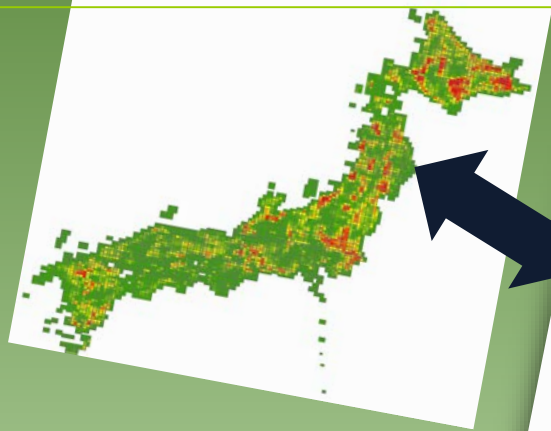


JBIF (www.gbif.jp/v2/)

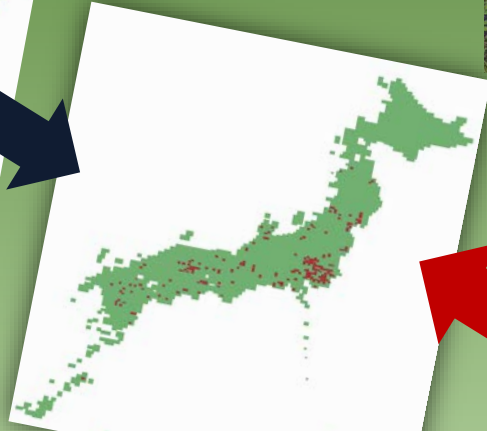


自己紹介

圃場整備の分布地図



絶滅危惧種の分布地図



耕作放棄地の分布地図



耕作放棄、圃場整備と
絶滅危惧種分布の関係を全国的に評価

Osawa et al. (2013) PLOS One: e79978

Osawa et al. (2016) Land Use Policy 54: 78-84



- 政府（環境省）によるオープンデータ（絶滅危惧植物の情報）
- 自分で作ったオープンデータ（統計情報から作成した農地地図）



<http://www.data.go.jp/?lang=japanese>



<http://agrimeshopen.web.fc2.com/index.html>

オープンデータを組み合わせた研究

Osawa et al. (2013) PLOS One: e79978

Osawa et al. (2016) Land Use Policy 54: 78-84



自己紹介

● オープンデータに色々口出し中

- ・大澤剛士(2017)
「オープンデータがもつ「データ開放」の意味を再考する
: 自由な利用と再利用の担保に向けて」情報管理 60(1): 11-19.
- ・大澤剛士・岩崎亘典(2016)
「環境科学分野における研究データの
オープンデータ化の現状と課題」環境情報科学 44-4:35-40.
- ・大澤剛士・神保宇嗣・岩崎亘典(2014)
「「オープンデータ」という考え方と、生物多様性分野への
適用に向けた課題」日本生態学会誌 64(2):153-162.

● 所内でオープンデータ課題を立ち上げ

- ・データ発信・利用に関する所内プロジェクトリーダー

● CKANカタログサイトを運営中

- ・オープンデータカタログサイトNIAES VIC
<https://niaesvic.dc.affrc.go.jp/>

The screenshot shows the NIAES VIC Open Data Catalog website. The header includes the NIAES VIC logo and navigation links for APIリスト, データセット, 組織, グループ, and About. A search bar is located in the top right. The main content area is divided into several sections: a search bar with a search button, a statistics section titled 'NIAES VIC 統計' showing 26 datasets, 3 organizations, 1 group, and 0 related items, and a key words section with a word cloud. The word cloud includes terms like 'technical', 'integration', 'databases', 'interface', 'web', 'API', and 'database'. There is also a 'Key words section' label at the bottom of the word cloud.



オープンデータも

流通しなければ使えない、使われない

研究情報、データ流通は
研究データのオープン化の鍵


探し物は何ですか？



願わくば

研究がんばって
クールな論文を書いて
多くの人に読んでもらい
楽しく生きたい

研究者としての希望



Takeshi OSAWA
National Institute for Agro-Environmental Sciences
Biodiversity Informatics, Ecology, Ecosystem Management, Land Use
確認したメールアドレス: affrc.go.jp - ホームページ

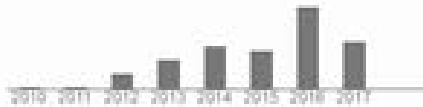
フォロー

タイトル	1-20	引用先	年
Areas of increasing agricultural abandonment overlap the distribution of previously common, currently threatened plant species	T. Osawa, K. Kohyama, H. Mitsuhashi PLOS ONE 8 (11), e79978	16	2013
Bagging GLM: improved generalized linear model for the analysis of zero-inflated data	T. Osawa, H. Mitsuhashi, Y. Uematsu, A. Ushimaru Ecological Informatics 6 (5), 270-275	15	2011
Many alien invasive plants disperse against the direction of stream flow in riparian areas	T. Osawa, H. Mitsuhashi, H. Niwa Ecological complexity 15, 26-32	15	2013

Google Scholar

自分のプロフィールを作成

引用指標	すべて	2012年以降
引用	272	263
h 指標	9	9
i10 指標	8	8



共著者 [すべて表示...](#)

[Atushi Ushimaru](#)
[Munemitsu Akasaka](#)
[Yuko MIYAZAKI](#)

科学への貢献という面はもちろん、引用数が増えると素直に嬉しい

Google Scholar Citations (大澤のもの)

<https://scholar.google.com/citations?user=70TCNP0AAAAJ&hl=ja>



簡単ではない



- ・研究進めて論文書くのは大変
- ・宣伝しても、「うちの大学からは取れない」なんてこともあるでしょう
- ・読んでもらいたいが、OAにはお金かかる
- ・研究費は激減
- ・そもそも出版社がヤ●ザって声もあるし
- ・某研究SNSにアップしたいけど、出版権の問題が・・・

オープンなリポジトリがあると
多くの人に読んでもらえる機会が
増えて、引用数も増えて幸せ



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

研究者？として避けたいこと

願わくば

いわゆる雑用
謎の書類書きハンコ押し
ネ申エクセル修行は
やりたくない！

某組織の研究成果管理しすてむ

108ページのマニュアル見て半日かけて
登録して、過半数がリジェクトされて
修正したら登録用マクロとやらが出てきて
それをさらにネ申エクセルにコピーして
印刷してハンコを押して...

(超実話 たぶん今年もやる)



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

これに加えてリポジトリが出てきた

(JAIROだけど未公開 つか動いてない?)

管理しすてむとは別に、これにも登録しなさい
わかりやすい()多ページまにゆあるが提示

(しかも間違いが多々あり、指摘したが華麗にスルー中)

(優れたシステムも管理がアレだと略)

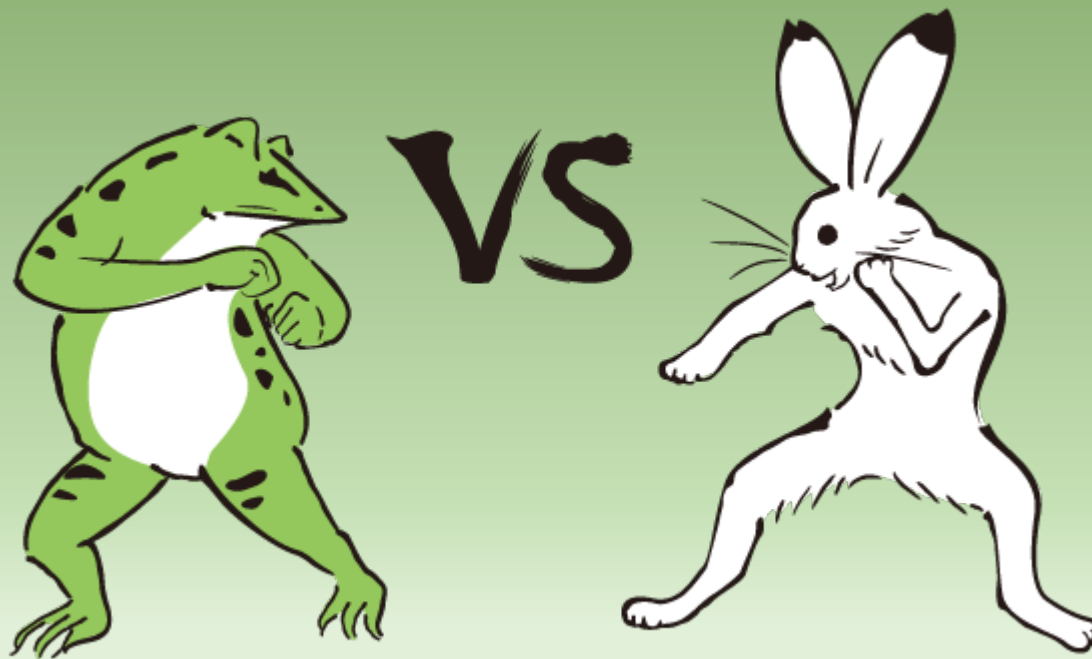


ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



研究成果を出せば出すほど
増える雑用 悪化する担当との関係



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

もしこれを図書館で実施してくれるなら
もう最高！言うことにはないです

以前のSPARCセミナーで具体的な取り組みを聞き、
うちでもやって欲しい！と思いました。



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



しかし！

これっていわゆる雑用？
仕事を増やすだけでは？

皆さんに聞きたいこと

Q. ライブラリアンにとって
研究者と、より深く関わる
インセンティブはあるの？



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



Q. 研究成果、データ流通促進を
ライブラリアン個人の業績に
できる仕組みってないのかしら？



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

ちゃんとしたリポジトリは研究者にとって
利点ばかりといいましたが、
実はそうでもない場合が・・・



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

機関リポジトリ(きかんリポジトリ)とは、
研究機関がその**知的生産物**を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムである。

Wikipedia(機関リポジトリ)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A9%9F%E9%96%A2%E3%83%AA%E3%83%9D%E3%82%B8%E3%83%88%E3%83%AA>



研究所なのに知的生産しない人
残念ながらけっこういます



管理職でもないのに
全く論文書か(け)ない
データも出さない
蘊蓄のたまう大先生方



大先生方には研究データ流通とか
リポジトリって関係ないんですよね



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

データについては、こんな論文も



RESEARCH ARTICLE

Data sharing as social dilemma: Influence of the researcher's personality

Stephanie B. Linek^{1*}, Benedikt Fecher^{2,3}, Sascha Friesike^{3,4}, Marcel Hebing²

1 ZBW—Leibniz Information Centre for Economics, Kiel, Germany, **2** German Institute for Economic Research, Berlin, Germany, **3** Alexander von Humboldt Institute for Internet and Society, Berlin, Germany, **4** Vrije Universiteit Amsterdam, Netherlands

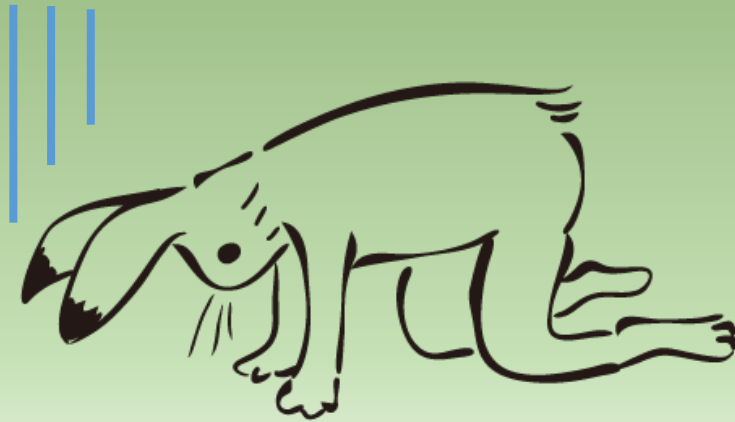
研究データの共有は研究者の評価にあまり関係しないので、必要と誰もが認めつつ、結局個人頼みになっているのが現状
その促進には個人的なインセンティブなりが必要



PLOS ONE

<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0183216>

研究者が真剣に研究して成果を出せば
出すほど、雑用が増加し、研究者を
サポートしてくれる図書館員にも負担を
かけることになる絶望工場



そりゃあ論文数やら低下しますよ・・・

ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>

たぶん新しいアイデア、 発想の転換が必要



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



アレな方々は置いておいて、
意識高い系研究者と
意識高い系図書館員だけで
面白いことできないか？



ダ鳥獣ギ画

<http://www.chojugiga.com/category/da/>



ぼくがかんがえた
さいきょうのあいであ

こんなことができる？

研究プロジェクトのメンバーに

競争的資金でも、DMP
(データ管理計画)の作成が求められつつある。
データ管理者としてライブラリアンをメンバーに
できないか？

→外部資金が配分され、リポジトリ維持とか
業務に利用できる

こんなことできる？

情報管理者というポスト

日本の研究現場は情報(データベース)担当が不在
(どれいPDとかにアクセスとかで平気でやらせる)
リポジトリという箱とライブラリアンという管理者
これが揃っているのは凄いのでは

→業務との連携はもちろん、研究者的な
“業績”になるので、ステップアップにつながるかも？

こんなことできる？

共同研究者

データ管理を担当する形で、データ論文とかの共著者に入ってもらえないか？

→既存の仕組みを利用した上で、研究者とも図書館員とも違う新しいポジションを創出してしまおう勢い

やりがい詐欺、ええ話は
やめましょう。
お互い利がある形でない
と継続性もありません

楽しい未来を考えながら
建設的な議論をしましょう。